

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 18 日作成)

委員会名	補強組積造性能評価型設計指針作成小委員会	主 査 名：松村 晃
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：平石久廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>〔目的〕 各種の補強組積造（型枠コンクリートブロック造、補強コンクリートブロック造など）の性能評価型設計指針を作成する。</p> <p>〔年度活動計画〕</p> <p>2001 年度：指針原案の作成 2002 年度：解説原案の作成 2003 年度：解説案の作成 2004 年度：指針および解説の執筆、評価設計例の作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>主査：松村 晃 (神奈川大学)</p> <p>幹事：加村隆志 (日本工業大学)、信澤宏由 (前橋工科大学)</p> <p>委員：五十嵐泉 (神奈川大学)、植松武是 (北海道立北方建築総合研)、大塚貴裕 (久保田セメント)、大和田義正 (芝浦工業大学)、菊池健児 (大分大学)、窪田敏行 (近畿大学)、清水泰 (東工大付属工高)、浪田裕之 (構造計画研究所)、西山光昭 (日本工業大学)、根井 浩、前田敏雄 (前田建築構造事務所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	350, 000 円	

項 目	自己評価	
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 5 月 14 日 7 名 2004 年 6 月 25 日 8 名 2004 年 8 月 2 日 7 名 2004 年 9 月 28 日 7 名 2004 年 11 月 10 日 8 名	2005 年 1 月 17 日 7 名 2005 年 2 月 23 日 9 名 2005 年 3 月 24 日 (予定)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>従来、この構造は解析が難しいため、本会の設計規準は略算的・経験的な手法により安全を確保する規定で構成されている。規準に従って設計すれば耐震上安全は確保されるが、個々の建物の性能レベルを評価することはできなかった。この委員会で作成を検討した指針は、需要者の要求度に応じた性能の構造設計を可能にすることを目指した。4 年間の研究の結果、構造性能を適切に評価できる指針が作成できた。</p> <p>HP には、小委員会の組織を公開</p>	
	委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s5/organ/organ.html	
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>補強組積造は壁式構造の一種で、通常の骨組構造と異なり、部材の解析は不明確な点が多い。従って、委員会活動は構造の特性とその性能評価のための基礎的な資料・文献の調査研究に初期 2 年間の時間の多くを割いた。計画 3 年度において指針の骨格が得られ、各条文・解説の作成などを行い、最終年度において、設計例についてさらに検討を加え、実用的な指針とその解説が得られた。</p>	
その他評価すべき事項		